

表-2 本研究が実現する新しいネットワーク計画方法の特徴

	従来のネットワーク計画方法	本研究が実現する計画方法
考察の単位	事業者毎／リンク毎	NW全体／全都市間ペア
考え方	トレンドに基づく競争戦略 個別事業者の利潤	社会的、経済的、環境的に レジリエントなNWデザイン
利用者の 経路集合	経路集合の事前限定 乗継利用ができない	経路集合生成を内生化 時間と運賃を考慮し乗継経路も動的に生成
拡張時戦略と 結果	「儲かる」リンクへの投資競合 環境効率性の悪化 競争激化による疲弊と非効率化 高い感染性を持つ混雑リンクの発生	効率性が高く手戻りがない投資 環境制約の達成 乗継活用による効果の早期波及 利用密度調整による感染性の低減
縮小時戦略と 結果	不採算な路線からの撤退決定 なし崩し的な途絶発生 パンデミック後の雪崩的な廃止	需要誘導による骨格リンクの残存 撤退による途絶発生回避 短期需要変動に対応する経済支援
計算方法	Ad hoc戦略への交通量シミュレーション、 ヒューリスティック擬似最適化	数理計画法による体系的／一貫的解法と、 数理問題の情報活用